

和気町教育委員会

- 【開催年月日】 令和6年1月18日（木）
- 【召集の場所】 佐伯庁舎 町民室
午後2時00分開会
- 【出席者】 委 員 有正 省三（教育長職務代理者）
委 員 坪井 悠子
委 員 安藤 知春
委 員 國友 道一
- 【事務局出席者】 新田教育次長・嶋村学校教育課長・森元社会教育課長
- 【付議した議案】
- 議案第1号 和気町幼児2人同乗用自転車レンタル事業実施要綱
の一部を改正する要綱について
- 議案第2号 令和5年度和気町教育委員会被表彰者の決定について
- 【その他】
- （1）電子管理システムの導入について
（2）議会12月定例会について（報告）

審議の記録(要約)

- 開会時刻 午後2時00分開会
- 新田教育次長 教育長欠席の旨報告した。
- 有正職務代理者 開会挨拶に続き、議事録署名委員に坪井委員と安藤委員を指名した。
- 新田教育次長 11月16日以降の教育長諸般の報告を行った。
（質問・意見無し）
【議事】進行は有正職務代理者
- 新田教育次長 議案第1号 和気町幼児2人同乗用自転車レンタル事業実施要綱の一部を
改正する要綱について、議案書により説明した。
- （質疑）
- 國友委員 3人乗り自転車のことか。
- 新田教育次長 3人乗自転車を買って1年契約で貸出を行っている。来年度から車両
の更新を考えている。
- 有正職務代理者 「幼児2人同乗用自転車」という名称は定着しているのか。
- 新田教育次長 前後に乗せられる装置の付いた物を「2人同乗用」と呼ぶ。
承認
- 新田教育次長 議案第2号 令和5年度和気町教育委員会被表彰者の決定について、議案
書により説明した。
- （質疑）
- 有正職務代理者 選考委員会で議論いただいた結論ということだが、ほとんどスポーツ関係
だが文化関係はないのか。

森元社会教育課長 嶋村学校教育課長	社会教育課からは激励金を支出しているが、全てスポーツである。 文化系のものも取り上げたいと考えているが、なかなかそこまでいかないという現状である。
新田教育次長	和気中学校吹奏楽部などが頑張っているので文化活動でも表彰の対象になるかもしれない。
有正職務代理者	表彰規定も文化活動やボランティアなどにも門戸を広げてもらいたいと考える。 承認
	【その他】
嶋村学校教育課長 (質疑)	(1) 電子管理システムの導入について、資料により説明した。
有正職務代理者 嶋村学校教育課長	これを導入することで先生方の事務負担は減るのか。 事務負担は減ると想定されるが、最終決裁者（確認者）の負担は増えると考えられる。
國友委員	事務負担が減ることは良いことだと思うが、採点などをデジタル化できないのか。
嶋村学校教育課長	中学校では今年度試行で行っている。来年度からは本格的に取り入れることとしている。
國友委員 嶋村学校教育課長	メリットは。 慣れたら非常に便利だと聞いている。採点データの分析も瞬時にデータ化できる。
坪井委員 嶋村学校教育課長 新田教育次長 (質疑)	採点結果、分析結果等を子どもたちの端末に送信などはできないのか。 その事も視野に入っている。 議会12月定例会報告について資料により説明した。
國友委員	スポーツ振興監の職務内容について、和気閑谷高校の監督はしないとのことだがどのように答弁したのか。
森元社会教育課長	コーチという立場で関わるという答弁をした。監督との関係について注視していく必要がある。
新田教育次長	部活動の監督を決めるのは校長であり、町には決定権がない旨町長が答弁した。
有正職務代理者 森元社会教育課長	美術館を造るという質問にはどう答弁したか。 具体的に美術館を整備することは答弁していないが、文教エリアとして総合的に考えると答弁した。
嶋村学校教育課長	卒業式、入学式への教育委員の出席について日程調整を行った。 祝辞なし、服装は平服
有正職務代理者	学校訪問についてその後評価と意見交換する必要がある。 各学校の学校要覧をいただいたが、生命線である教育課程に関する記述が

ないのはおかしいと感じた。年度末に評価できるものではなかった。

年度末に評価できる記述でお願いしたい。

國友委員

佐伯中学校長寿命化工事の増額の原因は何か。

新田教育次長

足場を組んで現地確認した時、躯体の痛み具合が計画とかなり違ったのが原因である。議会からも指摘された。

國友委員

文化ゾーンについて、周辺市には立派な図書館がある。読解力を高めるため読書指導が重要と考える。

森元社会教育課長

文化ゾーンを考えると、例えば老朽化した中央公民館と図書館を併合する等総合的に考えたい。

安藤委員

本荘小学校PTA組織を変更することとなった。保護者主体で事業を実施し教職員の負担を減らしていく流れとなっている。

有正職務代理者

都市部ではそのような流れになっていると感じる。時代に即した姿になるべきと考える。

坪井委員

和気地域と佐伯地域では温度差があると感じる。

佐伯地域は家庭数が少ないので同じような流れは難しいと感じる。

佐伯小中は学校としっかり連携が取れている現状がよいということになったらしい。

学童保育はクラブ毎に運営形態が違う。町内同じようなスタイルにならないか。学童が使いにくいという意見をよく聞く。

新田教育次長

町が補助した自主運営なのでクラブによって運営形態は違う。町内どこでも同じ条件となるよう研究している。

それぞれのクラブの歴史は大切にしつつ統一した運営形態となるよう研究したい。

有正職務代理者

PTAのあり方について社会教育課で研究していただきご提案いただきたい。

森元社会教育課長

情報提供はするが、主体は学校・保護者であるので今後のPTAのあり方について議論してもらいたい。

15:30閉会

議事録署名

委

員

坪井 悠子



委

員

安藤 知春



教 育 次 長

新田 憲一

